

Inter-Cultural English Exchange

さあ、英語のお祭りだ！



準備のできない英語コミュニケーションコンテスト！

ICEE は、何が起ころか予測不可能、参加者全員で作りに上げるお祭りスタイルのコンテストです。

その場その場の力がモノをいうこの chancy test で勝ち抜くには、付け焼刃の準備は役に立ちません。受験対策のないコンテストは、まさに人生劇場です。日ごろ鍛えたコミュニケーション能力と問題意識を武器に、参加者もジャッジも一緒になって、お祭り的一天を楽しみましょう！

ICEE とは？

Inter-Cultural English Exchange の略で、英語の実技によりコミュニケーション能力を測定するコンテスト形式の検定試験です。この試験のポイントは Exchange に重きをおいています。Exchange には「交流」以外に「取引所」という意味があります。ですから ICEE とは英語や情報・価値観、ひいては人間そのもの取引する場とも言えます。参加者が会場において他の参加者やジャッジとの出会いを楽しむことができるのもユニークな点です。創設者の松本道弘氏はこれを「お祭り」と称しています。

ICEE は参加者同士の知的な競い合いの場ですから、スポーツあるいはゲーム感覚の原理・原則が働き、勝負を楽しむことができます。ゲームであればこそ擬似体験ができ、社会でのルール感覚や、コミュニケーション能力を身につけることができます。コンテスト形式で進められますが、英語の運用能力の目安として、6 級から三段までの級または段位の認定が行われます。

ICEE 創設者 松本道弘氏のプロフィール

一度も海外へ行かずに独力で英語をモノにした経歴の持ち主。アメリカ大使館の同時通訳者、NHKテレビ英語会話上級講師、名古屋外国語大学教授などを経て、ディベート・国際交渉・国際コミュニケーション等の分野で活躍。現在、絃道館館長、国際ディベート学会会長。英語と英語教育、日本文化に関して 150 冊を超える著作がある。近著に「オバマの本棚」、「"it" がわかれば英語がわかる」、「松本道弘のサムライ英語学習法」など。



日時: 2011 年 10 月 23 日(日) 9:45~18:00 (9:30 受付開始、昼休み 1 時間程度あり)

場所: 神田外語学院 本館 〒101-8525 東京都千代田区内神田 2-13-13 (JR 神田駅から徒歩 2 分)

参加料: 一般 8,000 円、学生 5,000 円

(10 月 19 日(水)までのお申込み、お振込みで、一般 6,000 円、学生 3,000 円の事前割引料金となります)

お問合せ/申込先: ICEE 運営委員会事務局 中谷 敬 (tnakaya@peach.ocn.ne.jp)

お振込先: みずほ銀行根津支店 普通口座番号 1069581 絃道館事務局

試験方式：トーナメント方式

受験者は全員、地検からスタートし、審査終了後に次のゲートに進むことができる（パス）受験者が発表されます。次のゲートに進めなかった（ステイ）受験者も最後まで会場に残って観戦したり、ジャッジによるデモンストレーションを見学できます。

認定範囲：6級・5級・4級・3級・2級・1級・初段・弐段

評価基準：各ラウンドの内容に基づきます

ジャッジ：ネイティブスピーカー、松本道弘氏（主審）

●進行方法

地検：

Introducing others

- ・ペアを作り、相手について情報を聞き出し（日本語可）、1分間で英語で相手をジャッジに紹介する。

Extemporaneous Speech

- ・与えられたテーマについて1分間準備の上、1分間スピーチする。

水検：

Why Because Game

- ・ペアを作り、AはBに2分間自由に質問する。Bは答える。その後その逆を行う。

Discussion

- ・与えられたテーマについてグループでディスカッションする。

火検：

Impromptu Debate

- ・地検水検により、残ったベスト8によるディベート（英語）を行う。

Interpreting

- ・英→日、日→英の同時通訳を行う。

風検：

Negotiation

- ・残った4名が2組に分かれてチームで交渉を行う。

Journalistic Interview

- ・最終的に残った2名が、ネイティブスピーカーから、あるトピックに関し意見を引き出す。

●認定級目安

6級、5級

4級、3級

2級

1級

初段／弐段

ICEE

Inter-Cultural English Exchange

試験要項

October 23, 2011

Kanda Institute of Foreign Languages

主催

ICEE 運営委員会

後援

神田外語学院
国際ディベート学会

TIME Inc.

紘道館

<試験審査の方法>

1. 試験の開始

すべての受験者が地検からスタートします。飛び級はありません。

2. 審査について

まず最初の地検、水検では2ラウンド終了後に行われます。その後の各火検、風検では各ラウンド終了後に行なわれます。Passと評価を受けた受験者が次のラウンドを受験することができます。(3ページの図を参照のこと)

3. 観戦について

Stayの評価をされた場合には、次からのラウンドは観戦者としての参加が可能です。

ICEEでは他の受験者に学ぶことも"English exchange"の重要な要素です。

4. 各ラウンド共通の審査基準

ICEEは、単なる英語力ではなく、英語によるコミュニケーション能力を検定するための試験です。ですから基本的な英語運用能力(語彙・文法・発音など)の他に、内容・情報・説得力・常識・ロジック・ユーモアなどが重要な評価の対象になります。日頃から培った英語力と問題意識を十二分に発揮してください。

<諸注意>

●受験に際しての一般的注意

1. 常に積極的に参加してください。
2. 各ラウンドでは与えられた時間を有効に使ってください。指定時間をオーバーした場合および、極端に短い場合はいずれも減点の対象となります。

●観戦に際しての諸注意

1. 会場内を自由に移動して観戦することができます。
2. 静かに観戦し、受験者の迷惑になるような行為は慎んでください。
3. 上級者の技を盗むつもりで、真剣に観戦してください。
 - ・発音、発声、リズム、文法、ロジック、ユーモア
 - ・プレゼンテーションのやり方(間の取り方、eye-contact、声のトーンなど)
 - ・問題意識の持ち方(自分ならどう答えるか、共に考えてみる。)
4. 写真撮影・録音は試験の進行に支障がでない範囲で行ってください。支障があるとスタッフが判断した場合は禁止となります。ビデオ撮影は最初から禁止されています。

*当日の判定・審査に関する問い合わせには一切応じかねます。

*試験会場ではスタッフ及びジャッジの指示に従って下さい。

<試験の結果について>

全受験者に対し、試験終了後4週間以内に各ランクの認定証を発行します。

※この冊子は、試験当日必ず持参してください。

試験進行方法

試験は、下記の順序で行われます。

地 検
Ground Gate

スタート ⇒

第1ラウンド : Introducing Others



第2ラウンド : Extemporaneous Speech



審査・判定



PASS

観戦

第1ラウンド : Why-Because Game



第2ラウンド : Discussion



審査・判定



PASS

観戦

第1ラウンド : Impromptu Debate



審査・判定



PASS

観戦

第2ラウンド : Interpreting



審査・判定



PASS

観戦

第1ラウンド : Negotiation



審査・判定



PASS

観戦

第2ラウンド : Journalistic Interview



審査・判定

水 検
Water Gate

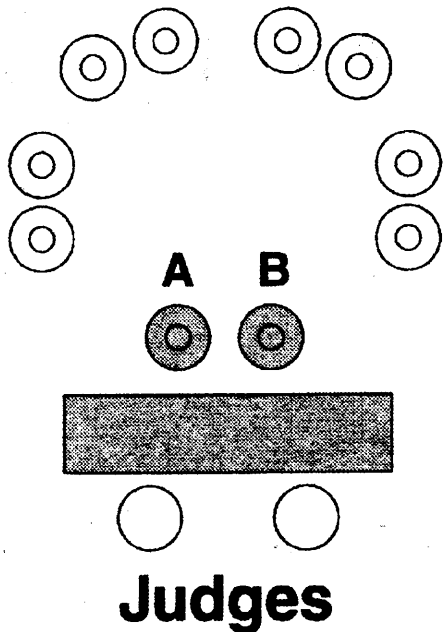
火 検
Fire Gate

風 検
Wind Gate

地検 (Ground Gate)

第1ラウンド (6級)

Introducing Others



<試験方法>

受験者は二人一組となり、

1. AからBに2分間自由に質問
(メモをとってもよい/日本語でも可)
2. Aはジャッジに対してBを1分間で紹介する(英語)
3. ジャッジからAに1分間程度で内容に関する質問。

同様にBがAをジャッジに紹介する。

※質問時間が終わるとメモを取ることはできない。

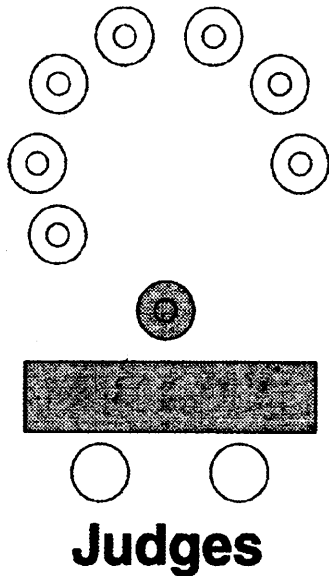
<審査のポイント>

1. 文法的に正しい英語を話そうとしているか?
2. 自分で得た情報を短時間で的確にまとめられるか?
3. 紹介のときには質問した内容の羅列ではなく、きちんと整理されたスピーチをしているか?
4. 友好的かつ誠意をもって相手を紹介しているか?
5. 相手の職業や趣味だけではなく、その人らしさを感じさせるような紹介ができるか?

MEMO

第2ラウンド (5級)

Extemporaneous Speech



<試験方法>

1. 封筒を開け、カードを取り出す。
複数のテーマから一つを選び、1分間準備する。(メモをとってもよい)
2. 1分間のスピーチ
3. 質疑応答 (1分間)

* 前の受験者の質疑応答が始まった時点で、次の受験者は封を切り、中のカードを見て準備する。

<審査のポイント>

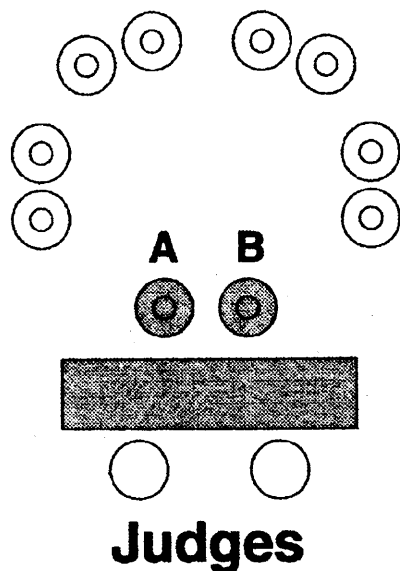
1. 選んだテーマを正確に把握し、それに沿ったスピーチをしているか?
2. 自分の考えを整理し、指定された時間内でスピーチできるか?
3. テーマに関する簡単な質問に答えられるか?
4. テーマについてどの程度の知識を持っているか?
5. プレゼンテーションは効率的・効果的になされているか?

MEMO

水検 (Water Gate)

第1ラウンド (4級)

Why-Because Game



<試験方法>

受験者は二人一組となる。

1. 各ペアに対し、最初の質問が与えられる。
2. A は、与えられた質問から始め、B に2分間自由に質問する。Bはそれに答える。
(AはできるだけWhy? 形式で質問し、Bは Because で答える)
3. BからAへ同様に2分間の質問。

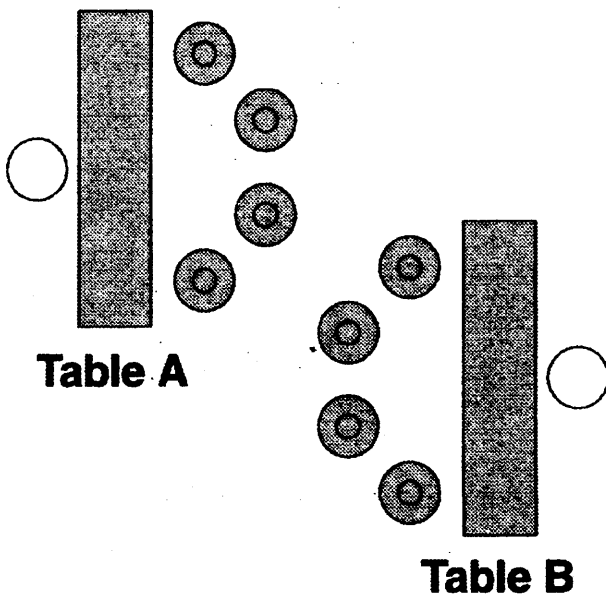
<審査のポイント>

1. 質問する側及び答える側それぞれの立場に徹しているか?
(ただし、質問は "Why...?" に限る必要はない。)
2. 関連する質問で議論を深く発展させているか?
3. 相手の発言内容を瞬時に的確に把握し、対応しているか?
4. 相手の核心をついた質問をしているか?
5. 聴衆にとっても知的刺激を与える応答をしているか?

== MEMO ==

第2ラウンド (3級)

Discussion



<試験方法>

1. 一つのトピックが与えられる。
2. 与えられたトピックに関して建設的な意見を多く出し合い、議論を展開する。
3. 発言は自由にしてよい。
4. 時間は15分間。

<審査のポイント>

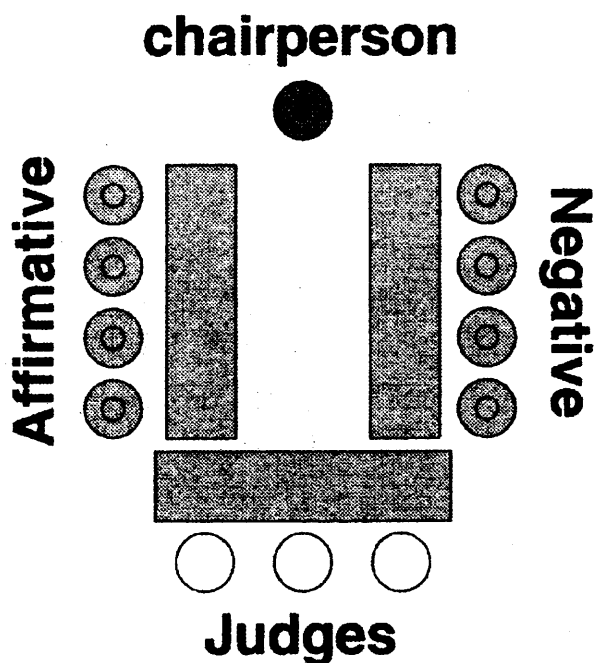
1. 自分の意見を述べるだけの問題意識があるか？
2. 他人の発想や意見を妨げるような行為をしていないか？
3. 自分の立場／意見に論理的一貫性があるか？
4. 各自の意見を効果的に伝達しているか？
5. 真理を追求するあまり、攻撃的になってはいないか？

MEMO

火検 (Fire Gate)

第1ラウンド (2級)

Impromptu Debate



<試験方法>

- ・与えられた論題に関してグループ・ディベートを行う。

<形式>

準備	30分
立論	4分
反対尋問	4分
作戦タイム	1分
反駁1	3分
反駁2	3分

- ・各参加者は立論・尋問・反駁のうち必ず1つを受け持つこと。
 - ・相手の尋問には立論をした者が答える。
- ※各自の時間外では発言権はない。

<審査のポイント>

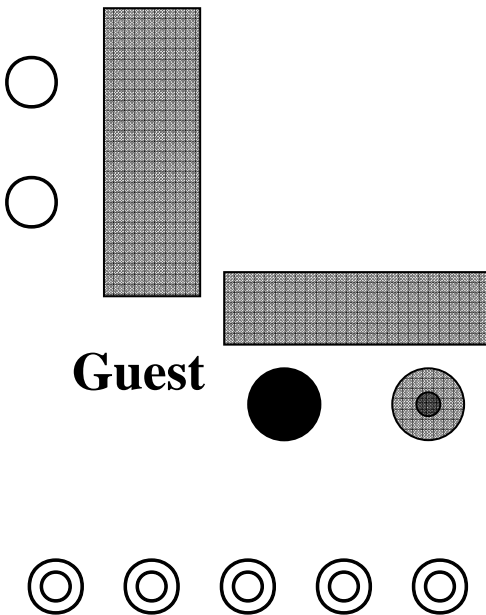
1. ディベートの基本を習得しているか?
2. 論題を、論理的にかつ十分に分析しているか?
3. 聴衆及びジャッジに対して、効果的かつ説得力のあるプレゼンテーションができるか?
4. 相手の議論や尋問に、柔軟かつ迅速に対応できるか?
5. チームワークが十分に発揮されていたか?

MEMO

第2ラウンド (1級)

Interpretation

Judge



〈試験方法〉

1. 受験者1名が、Judgeの前で、ゲストのスピーチを同時通訳する。

(同時通訳) [日→英]

2. ゲストが、日本語でスピーチをする。

3. 受験者は、ゲストのスピーチを約1分間英語に同時通訳する。

4. 進行係の合図で、次の受験者と交代する。ゲストは切れ目無く話すので、受験者は交代次第、同時通訳を開始する。

(同時通訳) [英→日]

5. ゲストが、英語でスピーチをする。

6. 受験者は、ゲストのスピーチを約1分間日本語に同時通訳する。

7. 進行係の合図で、次の受験者と交代する。ゲストは切れ目無く話すので、受験者は交代次第、同時通訳を開始する。

〈審査のポイント〉

1. 内容を正確に捉えているか？
2. 与えられた時間内で十分な通訳ができるか？
3. あわてずに落ち着いた訳ができていないか？
4. 臨機応変にサービス精神が(セミプロ並みに)発揮できるか？
5. 英語のみならず日本語の理解力及び発表能力もしっかりしているか？

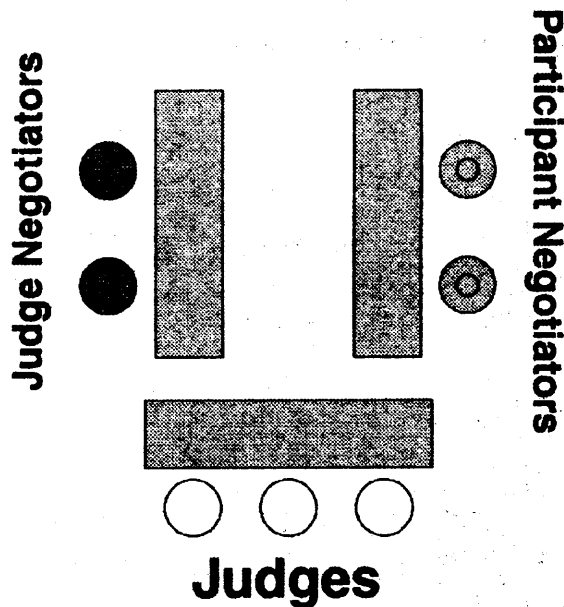
MEMO

風検

(Wind Gate)

第1ラウンド (初段)

Negotiation



<試験方法>

1. 他の受験者とチームを組み、ネイティブを相手に交渉を行なう。
2. 各チームに交渉のケースが与えられる。準備時間は20分。
3. 交渉時間は20分間。交渉のスタイル（どこでブレイクをとるか、席の配置をどうするか、など）は、自由。

<審査のポイント>

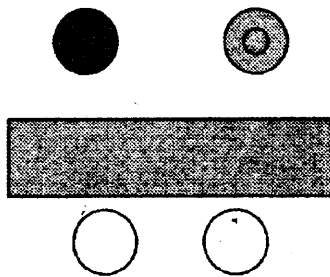
1. 与えられた役割をうまく演じているか？
2. 交渉に際し、双方が満足するような結果を引き出そうと努力しているか？
3. 沈着冷静に、かつユーモアを交えて交渉を進めているか？
4. 交渉中の様々な障害に、創造的かつ柔軟な対応ができるか？
5. 与えられた時間内に、交渉を効果的かつ効率的に行っているか？

MEMO

第2ラウンド (三段)

Journalistic Interview

Interviewee Interviewer



Judges

<試験方法>

1. 受験者はネイティブに対し、1対1のインタビューを行なう。
2. 受験者は相手に対して聞きたいテーマを一つに絞りopen-ended question（「それについてどう思うか」など）をする。
3. 準備時間5分、インタビューは10分間。

<審査のポイント>

1. プロフェッショナルに徹してインタビューしているか？
2. インタビューを通じて相手の本音を引き出しているか？
3. Devil's advocateの役割を巧みに演じているか？
4. 与えられた時間を効果的かつ効率的に使っているか？
5. インタビューのマナーは？

MEMO

2011 年度 ICEE 開催場所

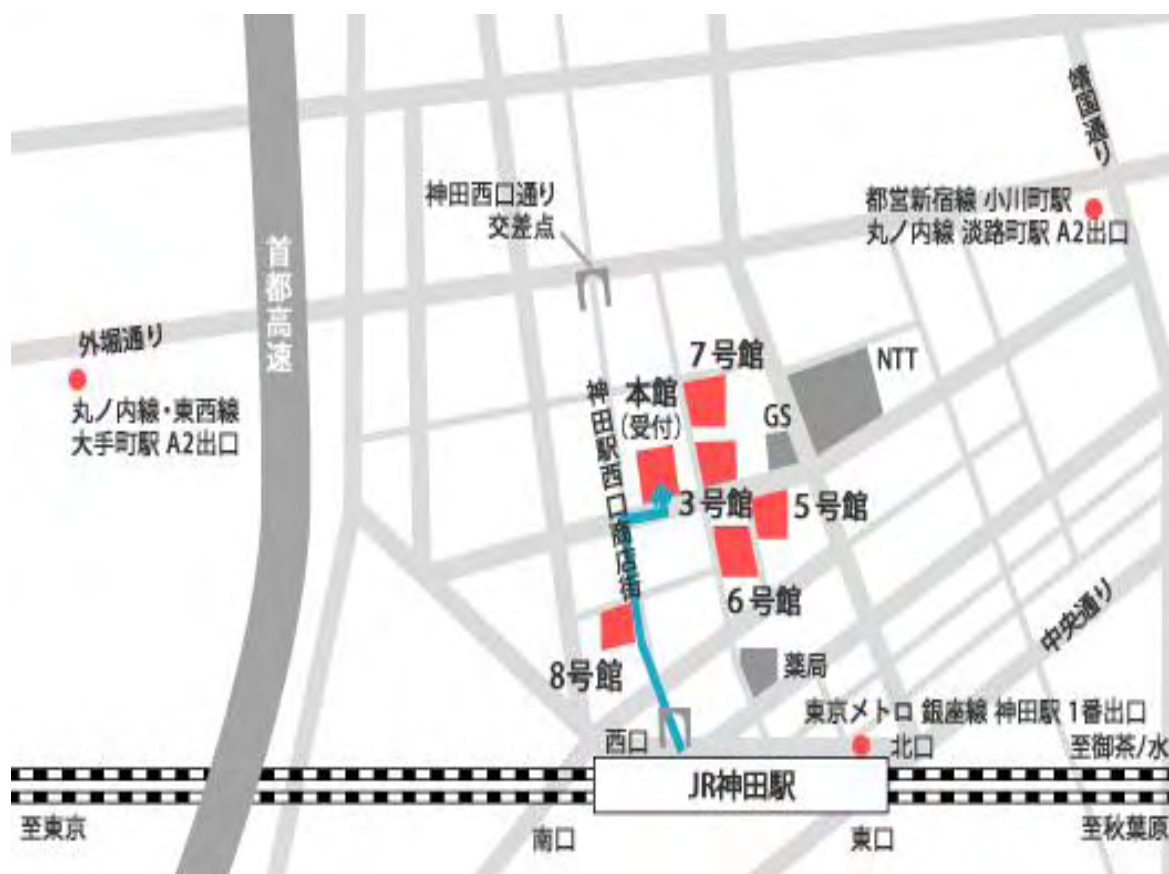
神田外語学院 本館 7 階 講堂

〒101-8025 東京都千代田区内神田 2-13-13

電話 03-3258-5838

交通

- JR 神田駅西口から徒歩 2 分
- 東京メトロ神田駅 1 番出口から徒歩 3 分
- 東京メトロ大手町駅・淡路町駅
- 都営地下鉄小川町駅から徒歩 7 分



発行 ICEE 運営委員会事務局

連絡先: 中谷 敬 <tnakaya@peach.ocn.ne.jp>

Inter-Cultural English Exchange

—ICEE PLEDGE—

We take a solemn oath to abide by the rules,
in accordance with the 'doh' of friendly competition.

PROGRAM

- 9:30 Registration
- 9:45 Opening
- 10:00 ICEE Pledge
- 10:10 Ground Gate, 1st Round: Introducing Others
- 10:40 Ground Gate, 2nd Round: Extemporaneous Speech
- 11:20 Water Gate, 1st Round: Why-Because Game
- 11:50 Water Gate, 2nd Round: Discussion
- 12:20~13:20 Lunch
- 13:20 Fire Gate, 1st Round: Impromptu Debate
- 15:00 Fire Gate, 2nd Round: Interpreting
- 16:00 Wind Gate, 1st Round: Negotiation
- 16:50 Journalistic Interview
- 17:20 Announcement of award winners
- 17:30 Closing
- 18:00 Naorai (Get-together near JR Kanda Station)

Inter-Cultural English Exchange

October 23, 2011

Kanda Institute of Foreign Languages

The Seventh Floor Auditorium, Main Building (本館)

Uchi-Kanada, Chiyoda-ku, Tokyo 〒101-8525

Phone: 03-3258-5838 URL: <http://www.kandagaigo.ac.jp>

Location and Access (in Japanese)

- JR 神田駅西口から徒歩 2 分
- 東京メトロ神田駅 1 番出口から徒歩 3 分
- 東京メトロ大手町駅・淡路町駅
- 都営地下鉄小川町駅から徒歩 7 分



Contact Information

Takashi Nakaya

Secretary, ICEE

<tnakaya@peach.ocn.ne.jp>